

海況速報（クロロフィルa分布）

平成29年10月26日

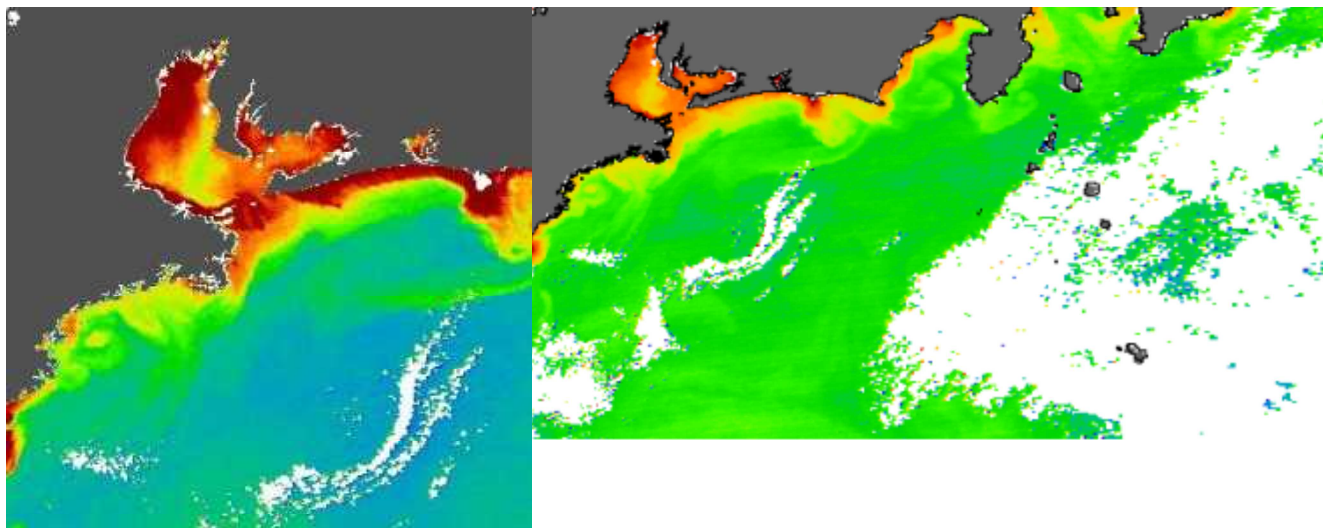
愛知県水産試験場 漁業生産研究所

10月26日の人工衛星クロロフィルa画像を見ると、クロロフィルa濃度は、台風21号による降雨で河川水が流れ出し、内湾および渥美半島沿岸域で高くなっています。黒潮内側域では気温が低下し鉛直混合したため、濃度が比較的高くなっていると考えられます。

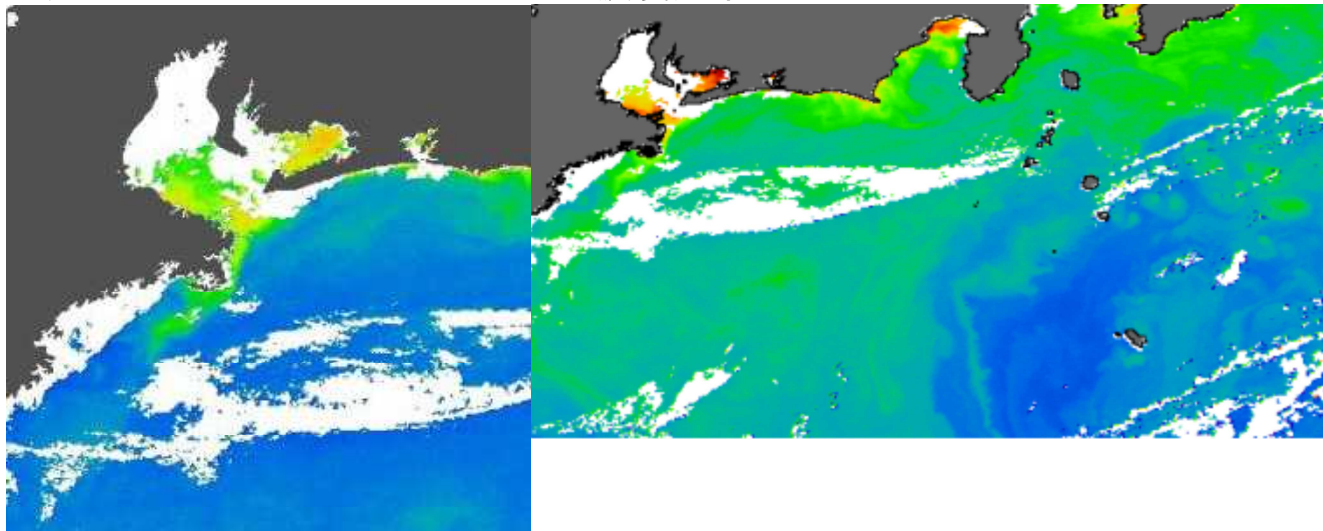
クロロフィルa濃度の経時変化を見ると、伊勢湾と渥美半島沿岸域では、6月以降横ばいとなっています。三河湾では8月、湾口域では7月から増加しており、昨年を上回る濃度で推移しています。渥美外海では7月以降横ばいで、昨年を下回る濃度で推移しています。

(宇宙航空研究開発機構(JAXA)／東海大学(TSIC/TRIC)提供のMODIS画像)

10月26日のAQUAによるクロロフィルa濃度分布



10月12日のAQUAによるクロロフィルa濃度分布



※画像データによるクロロフィルa濃度は、実際の濃度と異なる場合があります。また、詳細図と広域図で内湾域の濃度に誤差が生じることがありますので、目安としてご利用ください。

海況速報（クロロフィルa濃度の変動）

平成29年10月26日

愛知県水産試験場 漁業生産研究所

人工衛星 AQUA に搭載された MODIS センサーから得られた表層クロロフィル a 濃度をモニタリングしています（10月23日までのデータ）。

